

10. 内部質保証

中期目標

- 【目標1】大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たす。
 【目標2】内部質保証に関するシステムを整備する。
 【目標3】内部質保証システムを適切に機能させる。

(1) 大学評価委員会

中期計画【計画1】(目標1に対応する計画)		達成度評価指標【指標1】
[1-1] 定期的(年度単位)な自己点検・評価活動に基づき、自己点検・評価に関する年次報告書をホームページに公開する。		①刊行、掲載の有無
2016年度	年次計画内容 [1-1] 新様式に基づいた年次報告書を作成し、あわせてホームページでも公開を行う。また、法に定められた情報公開について、点検・見直しを行う。	計画実施状況 年次報告書は新様式の内容へ変更した。指標データは数値的根拠と言えるものを中心に掲載した。 HPで公開している「情報公開」は、公開内容を点検し、公開内容の充実を図った。
指標に基づく中期目標の達成状況 年次報告書の冊子体作成、ホームページでの公開を行っている。また、法に定められた情報公開もホームページで適切に行っている。		
2017年度	年次計画内容 [1-1] 自己点検・評価に関する年次報告書を作成しホームページに公開する。また、法に定められた項目について情報公開を適切に行う。	
中期計画【計画2】(目標2に対応する計画)		達成度評価指標【指標2】
[2-1] 「札幌学院大学大学評価に関する規程」に基づき実施する「自己評価」において、以下を実施する。 ①「事業実績報告」において、計画実施により中期目標の達成状況を評価する指標を導入するとともに、それに基づく「改善・発展の方策」を翌年度の「事業計画」に反映する。 ②中期目標の達成状況を組織的に検証する仕組みを構築する。		①「事業実績報告書」と「事業計画」書式の変更結果 ②新書式に基づく各部署、大学評価委員会・全学運営会議・大学協議会における審議実績
2016年度	年次計画内容 [2-1] 新様式に基づく自己評価結果を大学全体で集約し、内部質保証システムを機能させる上で改善点が必要な場合には柔軟に対応する。	計画実施状況 学内から改善の具体的要望は出ていないが、達成度評価指標の設定に苦慮している傾向がある。
指標に基づく中期目標の達成状況 各部署から事業計画は滞りなく提出されている。 なお、達成度評価指標を変更した部署もあったが、計画実施上有効と判断されるような達成度指標の変更には柔軟に対応している。		
2017年度	年次計画内容 [2-1] 次期認証評価で求められる、内部質保証のための方針や体制整備について理解を深める。	
中期計画【計画3】(目標3に対応する計画)		達成度評価指標【指標3】
[3-1] 根拠に基づいて、大学の諸活動を客観的に評価する取り組みを学内に浸透させることで、大学自らが評価・改善・改革を行うという仕組みの実質化を図る。 [3-2] 内部質保証の充実という観点から、第三者による「外部評価」のあり方を、有効性・現実性の両面から検討する。		[3-1]「点検項目」による結果 [3-2]外部評価導入検討報告書作成
2016年度	年次計画内容 [3-1] ① 各部署から提出された年次計画及び計画実施状況に基づき、大学自らが根拠に基づいて諸活動を評価し、改善・改革に取り組むという「内部質保証」システムが実質化されていることの客観的評価が可能な点検項目表を作成する。 ② 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」の交付に伴い、2017年度から義務化される「3つのポリシーの策定・公表」に関わる対応を行う。年度内に現行のポリシーの見直しを行う。	計画実施状況 ① 4つの項目から各部署の事業計画を点検することを検討している。2016年度は試行的に実施し、次年度以降の本格実施を目指す。4項目による点検が意義あるものかどうか、試行的に実施した部署からヒアリングを行う予定である。 ② 大学評価委員会で素案を作成し、それを各学部・研究科で検討・審議するという手順で見直しを行った。特に、3ポリシーの一貫性、整合性を重視し、カリキュラム・ポリシーには新たに「学修方法」及び「評価方法」の方針を示した。
指標に基づく中期目標の達成状況 ①内部質保証システムのPDCAサイクルのCを遂行するために点検項目表の導入準備を行った。 ②3つのポリシーの策定・公表を行った。		
[3-2] 認証評価基準・方法等の改善のために改正された「細目省令」への対応を行う。特に、「評価の過程における高校や企業等の意見聴取」に関する認証評価機関の対応動向の情報収集を図る。並行して、実現可能性の高い外部評価方法を検討する。		計画実施状況 「評価の過程における高校や企業等の意見聴取」は基準協会側での対応であることが判明したので実施せず。 外部評価導入の効果を挙げるためには、学内の内部質保証システムを整備し適切に機能させることが優先課題であると考え、一貫性と整合性を持った3つのポリシーの策定およびPDCAサイクルの実質化の方策検討を行った。外部評価については内部質保証システムの整備と並行して、本学における必然性、実効性もふまえながら検討する。
指標に基づく中期目標の達成状況 外部評価方法の検討は実施していない。		
2017年度	年次計画内容 [3-1] 各部署の自己点検・評価について、ヒアリングを実施しながら改善を進める。 [3-2] 2018年7月に提出する、前認証評価の指摘事項に対する対応について準備を進める。	